

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

学校名【 海田町立海田小学校 】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	① 1～6年（357名）・保護者（20名） ② 3年（67名）
3 展開の形式	（ ○ ）教科で実施 教科名（体育） （ ○ ）教科以外で実施 （学級活動）
4 目標（ねらい）	① オリンピアンとともに体を動かしたり、技を見せてもらったりすることで、スポーツや運動に対する興味・関心・意欲の向上を図る。 ② 基本的な回転技（前転・後転）のポイントを理解し、自分の力に合った課題を選ぶことができる。
5 取組内容	① ・オリンピック・パラリンピックに関する掲示物を貼り、オリンピック・パラリンピックの魅力を知らせた。 ・講師の開発したリズム体操を事前に練習し、講師の前で披露した。 ② ・オリエンテーションで、場の設定を児童が行えるようにしたり、安全の確保のための約束を徹底した。 ・事前の体育の時間に、マット運動で技ができる楽しさや喜びを確認するとともに、友達同士で教え合うよさを学年全体で共有した。
6 主な成果	① ・全校児童が、マット運動系に対する興味・関心・意欲が向上した。（児童への事後アンケートより） ・教職員のマット運動系への理解が深まり、より積極的な姿勢で教材研究を行う姿が見られた。（教職員への事後の意識調査より） ② ・将来の夢に「オリンピック選手」と回答する児童が約10名いた。（講師へのお礼状より） ・約9割の児童が基本的な回転技ができるようになった。（単元の評価より）
7 実践において工夫した点（事業の特色）	① ・全校児童・保護者に向けて、事前に講師の紹介（学校行事での看板、学校便りでの告知）を行った。 ② ・全学年で同時期に、マット運動系の単元が行えるようにカリキュラムマネジメントを行った。 ・低・中・高学年に分けて、マット運動系の動きが分かる掲示物を体育館へ掲示した。
8 主な課題等	① ・児童にとってオリンピックとかかわれる価値が分かるよう、当日までに全校児童が課題をもって参加できるようにすればよかった。 ② ・低学年から中学年になり、「遊び」から「運動」へ変わったことが分かるように、技のポイントをまとめていけるようなワークシートを準備するなど工夫すればよかった。 ・オリンピックの動きと自分の動きを比較できるように、ICT教材を活用し動画で確認するようにすればよかった。
9 来年度以降の	・オリンピック・パラリンピックに関する情報を学校便りや校内掲示等で

実践予定	意図的に紹介していきたい。 • 来年度の校内研修として、本年度の実践の様子を動画で観ながら、体育科の授業改善に向けた取組を進めたい。
------	---